

☆ P-Place(夕方支援)

青年たちの作業所帰りの居場所として、各曜日ともにぎやかに楽しく過ごしています。利用されている方は保護者の就労や一人での留守番は難しい、きょうだい児の用事など利用理由は様々です。しかし今年目立った利用理由は、保護者の病気です。お父様が急に倒れられた、お母様が入院する等、4件ありました。現在川崎市で夕方支援を考える会の活動されているお母様方も、保護者の急な病気を危惧されていました。充実した活動を続けられるよう、また、こういった急な支援にも応えられるよう、これからも支援者全員で協力していきたいと思えます。

開所日時 月～金曜日 16時～18時

利用状況 くりの丘 14名、 つつじ工房 12名、 Seeds 2名、 メイク2 1名

- 活動内容
- ・ 各施設へお迎えまたは自力で来所。
 - ・ みんなで挨拶をし、準備できる方はおやつの手伝い。
 - ・ みんなで一緒に食べられるよう努めています。
 - ・ 室内ではカラオケやゲームや読書など、気候の良い時は公園へ行き運動しています。
 - ・ 作業所の仕事内容によっては、運動量が少ないと保護者から相談があり、無理のない程度に散歩や公園遊びを取り入れるようにしています。
 - ・ 保護者お迎え、または送迎車でお帰りです。

※ 年間利用状況

活動日数	登録者数	送迎回数	延べ利用者数
242日	29名	1898回	1480名

お迎えの車が足りない為、各施設ごとに曜日を決めています。くりの丘は(木、金)。つつじ工房は(火、水)。お帰りは、地訓で活動している Y-Y やタイムケアの利用者をピックアップしての送迎になることも多いです。地域の福祉有償運送ドライバーにも協力をお願いして送迎は行っています。くりの丘からの利用者は意図してはいなかったのですが(木)が男性、(金)が女性、肢体の方になっています。つつじ工房からは(火)が年長者、(水)が小学校から一緒の 20 代の方たちとなっています。(月)は人数に余裕があった曜日だったのですが今年度増えてきました。お迎えに行った時、笑顔で車に乗り込んで来たり、疲れている表情だったり様々です。その日の様子で、元気に遊んだり、のんびり過ごしていただいたりと個々に対応を変えています。お仕事後の楽しみとして、皆さんが参加されていることがうれしいです。安全に過ごせるよう心がけていきます。

